

## 平成30年度事業計画

### 第7(56)事業年度

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

#### 基本方針

当財団は、昨今のマリンレジャーへの関心が低迷している傾向を鑑み、2020年、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて社会のスポーツ熱が高まる中、改めて広く一般に対して、マリンスポーツが体験できる機会を提供するなどの活動を通じて、水辺環境の保護や安全に関する意識の啓発、活動拠点の環境整備、また人々の交流、健康の増進など、社会的・文化的意義を高めることを目的に『スポーツ、教育、マネジメント』を主眼に、より公益性に重点を置き、各事業を推進する。

マリンスポーツの普及対策として、参加者に対し「マリンスポーツの楽しさや魅力の体感」、「水辺の安全や環境保全に関する啓発」、これら活動を行う自治体やボランティア団体に対しては協力、協調を図り、事業を効果的に推進するとともに、『スポーツ』の普及、啓発活動に対して、支援、協力を行う。

水上安全及びマナー等の向上対策は、小型船舶の安全運航に対する意識の向上及び救助手法等に重点をおいた講習会を通じた『教育』を行うとともに、舟艇及び水上安全の国内外関係機関や公的機関との連携を強化して、溺水防止等の安全啓発の推進、安全性の向上並びに水域利用の健全化を図る。

『マネジメント』分野においては、指定管理者として公共施設の適正な管理、運営体制を確保、維持するとともに、マリンスポーツを通じて魅力のある余暇活動を創出することにより、施設利用者の増加を図る。

また、持続可能な団体運営を行っていく基盤強化のための人材を確保するとともに、これら事業を効果的に運営するため、インターネット、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等の広報環境の充実を図り、積極的に情報発信を行うものとする。

以上、公益財団法人として、全ての事業を通じて広く一般に対し「有効かつ適正な水辺利用の環境整備」や「水辺への親しみやすさ」を育む契機とし、「人々の水辺に対する意識」を変え、これからの日本の水辺環境の『進化』と『親化（しんか）』を求め、社会貢献に資するべく活動を行うものとする。

## 実施計画

### I 公益事業

各地でマリンスポーツが体験できる機会の提供による普及啓発、水難・海難を防止するための活動の推進や、水上安全運航講習による教育、マリンスポーツ関連施設に伴う活動水域の整備を図るとともに、それぞれ事業の広報活動、情報発信の充実及び器材の整備を行う。

#### 1. マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業 (24,797,000円)

##### (1) マリンスポーツを通じた親水活動の推進事業

###### ① 親水イベントの開催・支援

国・自治体・公益団体・各地の Maris クラブ等と連携し、親水イベントの協力及び開催支援を行う。

###### a. 親水イベントの開催支援・協力

- ・開催場所 碧南市勤労青少年スポーツセンター  
横須賀市うみかぜ公園・台東区浅草（隅田川）  
糸魚川市能生漁港他
- ・実施内容 マリンスポーツ体験、安全教室他

###### ② 指定管理施設における体験乗船会の開催

周辺住民に対して、施設管理事業の活動への理解と、マリンスポーツに親しむことにより、水辺のルール・マナーや安全、環境保全に関する啓発を行う。

- a. 開催場所 二色の浜公園、横須賀ボートパーク
- b. 実施内容 マリンスポーツ体験、安全教室他

###### ③ 「WEAR IT」(ライフジャケットの着用)活動の推進

事故防止の「自助」を充足させる活動として、ボート乗船時や水辺での作業時、遊泳や川遊びなどにおける溺水防止を呼びかける「WEAR IT」活動を推進し、ライフジャケットの適切な着用の徹底と標準化を図る。

###### a. 「Ready, Set, Wear It」の推進

イベント主催者である米国NSBC（米国安全運航評議会）に協調し、国際的に展開しているライフジャケット着用人数の世界記録に挑戦する

とともに、ライフジャケットの有効性について啓発し、常時着用の意識を高める。

- ・開催場所 関東地区他
- ・開催時期 5月19日(土)、6月9日(土)  
7月7日(土)、8月11日(土)

b. ライフジャケットレンタルステーションの設置

海水浴場等においてライフジャケットの無料レンタルを行い、ライフジャケットの認知度、及び安全性に関する認識を高める。

- ・設置場所 平塚市、大阪府泉南郡、貝塚市他

c. 小型船舶のライフジャケット着用義務拡大に伴う周知活動

ライフジャケット着用義務範囲拡大の法令改正に伴い、国土交通省や海上保安庁と連携し、周知及び着用率向上活動を推進する。

④ 広報対策の拡充

- ・ホームページや、SNSの積極的な運用、配信
- ・活動状況画像や映像の記録と活用

⑤ 調査、整備及び共通事業等

- ・キッズボートの調査及び整備
- ・その他器材の整備

(2) マリンスポーツ施設を活用した一般利用者に対する安全啓発事業

① 海浜公園等における安全啓発(受託事業)

管理業務の指定や委託を受けた施設において、安全かつ快適にマリレジャーを楽しめるよう適正な運営管理を行う。

- a. 柏崎市マリンスポーツ交流センター(みなとまち海浜公園)の管理
  - (a) 利用者の入場管理
  - (b) 利用者への水域利用に関する指導、利用ルールの周知
  - (c) 水上安全、安全運航の普及啓発
- b. その他施設

水辺利用を伴う施設の管理業務を行う。

## 2. マリンスポーツの水上安全啓発事業 (14,050,000円)

マリンスポーツ等水辺利用の更なる向上を図るため、水上の安全と、小型船舶等の安全な運航の促進を図る。また事故防止の「公助」を充足させる活動として、公的機関における小型船舶の利用に関する安全基準の確立及び標準化を目指すとともに、「共助」としての民間活動の充実と、国土交通省、海上保安庁、水上安全啓発団体と連携体制を強化し、更なる水上安全の向上を図る。

### (1) 小型船舶の安全運航及び水上安全の普及啓発

#### ① 水上オートバイの救助技術講習会

当財団の内部組織である「K38 JAPAN」により、消防隊員や海上保安署員、ライフセーバー等に対して、米国のスタンダードカリキュラムである公的利用者向けの小型船舶安全運航教育講習会を実施し、水上救助技術の向上を図る。

##### a. 開催場所

平塚市リバーポートマリーナ、浜松市三ヶ日青年の家  
沖縄市沖縄マリーナ他

#### ② 小型船舶の職業利用安全運航講習会

(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会、(一社)日本水難救助艇協会と連携し、小型船舶の職業利用における安全運航講習を実施し、職業利用者の意識と技術の向上を図る。

#### ③ 安全講習会

海上保安庁、各消防署、運輸安全委員会、公共施設管理者をはじめ、海洋高校等に対して研修や教育を通じて事故対策の充実や安全意識の向上に寄与する。

##### a. 開催場所

多摩川ボートレース場、新潟県立海洋高校他

#### ④ マリンスポーツにおける安全管理体制の整備、強化

マリンスポーツイベントや競技会等において、警戒及び救助、医事に関する安全管理体制の整備と強化を図る。

⑤ 水上オートバイの安全、マナー等向上対策

- ・ T P S P（東京港、湾、河川水上オートバイ安全航行推進プロジェクト）への参画
- ・ 海上保安庁、小型船安全協会（各地）、日本水難救済会等との連携
- ・ 一般利用者に対する安全啓発及び水域パトロール
- ・ W e b サイト（Gold Rider）発信

⑥ 水上安全に関する国内外との連携強化

a. I B W S S（International Boating & Water Safety Summit）

：水上安全国際サミット（米国）への参加

U S コーストガードを頂点に、N A S B L A（全米安全運航法管理官協会）、N S B C（米国安全運航評議会）、N W S C（米国水上安全会議）によって開催される水上安全の国際サミットに参加し、最新の水上安全、安全運航の情報収集と、参加各国の水上安全関連機関との交流を図る。

- ・ 開催場所：米国 フロリダ州（ジャクソンビル）
- ・ 開催時期：平成31年3月24日～27日

b. J B W S S（Japan Boating & Water Safety Summit）

：国内における水上安全サミットの実施

国土交通省、海上保安庁、（一社）水難学会、（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会と連携し、安全運航及び水上安全に関わる団体間の情報の共有、効果的な連携や協調を促すことにより更なる水難、海難の防止、安全対策の向上を図る。

- ・ 開催場所：東京海洋大学（越中島キャンパス）
- ・ 開催時期：6月10日（日）

⑦ その他安全対策の強化

- ・ K38JAPAN メンバーミーティング&トレーニング
- ・ 災害時における救助、救援体制の構築
- ・ レスキューステーションとの連携
- ・ インストラクターの育成

### 3. マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と水上オートバイ専用施設の運営管理事業 (130,048,000円)

#### (1) 二色の浜公園の運営管理事業（指定管理事業）

大阪府の指定管理施設である海浜公園の管理・運営を行う。国内唯一の水上オートバイ専用施設を有する公共の公園として、安全、ルールの啓発を行うとともに適正な管理、運営を図る。

##### ① 内 容

- a. 施設の運営・管理
- b. 施設の有効活用
- c. 来園者に対するサービスの向上
- d. 公園利用者に対する普及啓発
  - ・水辺の自然環境の保全・創造に関する意識の向上
  - ・マリンスポーツの普及啓発
- e. 水上オートバイ施設利用者への指導、周知
  - ・適正利用、安全、航行に関する指導
  - ・周辺海域の安全監視、騒音指導等

## II 収益事業

指定管理施設における利用料等収入に関する管理業務及び水上オートバイの免許取得講習会を通じて安全意識等の向上による水域の適正利用を図る。

### 1. 二色の浜公園の運営管理の付帯事業 (37,297,000円)

#### (1) 海浜公園における駐車場管理・物販及び自主事業

大阪府営二色の浜公園の指定管理業務のうち、収益を伴う駐車場、バーベキュー施設、園内売店など便益施設の運営管理の他、マリンスポーツ器材のレンタル等利用者サービス事業を行う。

### 2. 特殊小型船舶操縦講習事業 (1,621,000円)

#### (1) Maris ジェットスクールの運営事業

水上オートバイ利用者の安全・ルール遵守、マナー向上を目的とした免許取得講習会を実施する。

- ① 試験コース  
多摩川ボートレース場、桐生ボートレース場、二色の浜公園  
新潟県立海洋高校
- ② 安全教育教習コース（登録教習所）
- ③ インストラクター及び登録教習所教員の育成

### 3. マリンスポーツ施設の運営事業 (51,020,000 円)

#### (1) マリンスポーツ関連施設の管理・運営

神奈川県横須賀市の指定管理施設である「深浦ボートパーク」、「浦賀ボートパーク」において、係留施設の運営管理を行うとともに、利用環境の充実により、利用者の拡大を図る。

- ① 内 容
  - a. 施設の運営・管理
  - b. 利用者に対する普及啓発
    - ・適正利用、安全、航行に関する指導等
    - ・安全運航講習会の実施

## III その他継続事業

### 1. マリンスポーツ競技等の環境整備事業 (3,400,000 円)

マリンスポーツの健全な普及を図るため、普及、啓発活動を推進する団体に対して支援を行う。

#### (1) 普及、啓発活動への支援、協力

- ① 支援、協力団体
  - ・競技団体及び Maris クラブ等